

クレオ

情報誌 & セミナー

男女共同参画情報誌／無料セミナー＆イベント案内

春号
4月
平成23年
(2011年)
4月 → 7月

Seminar セミナー案内



Topics

2・3 ISO26000 ～CSRの新たな展開～

- 4・5 男女共同参画週間
- 6・7 クレオ大阪 女性総合相談センター／クレオ大阪東 相談事業
- 8・11 セミナー受講者募集
- 12・13 クレオ大阪中央研究室発 こちら男女共同参画情報局
- 14 インフォメーション
- 15 しごと情報ひろばマザーズ オープン



きらめき

職場の男女共同参画をすすめます！大阪市きらめき企業賞の受賞企業による勉強・交流の場

企業会

平成23年3月15日開催(第3回)



報告：株ビルワーク代表取締役
石田明美(世話人)



大阪市きらめき企業賞

大阪市きらめき企業会のめざすべき目標と方向性について、当日の参加企業15社より主体的、能動的に活発な意見交換の上で

- ① 大阪市きらめき企業賞をブランド化すること
- ② 男女共同参画の推進
- ③ 各社情報交換、勉強会、ビジネス交流

以上を当日参加企業全員一致で決定しました。

また、社員への子育て支援策の一つとして、事業所内保育所に関する意見交換を行いました。事業所内保育所を設置している「医療法人 全人会」様、「有限会社ハストワ」様より状況及び課題の報告。大阪市の次世代育成支援施策や事業所内保育施設の設置、運営に関する国の助成金について、大阪市こども青少年局担当者よりご説明や各社からの質疑応答に対応していただき、各社、大変参考になる勉強会となりました。

今後は、目標と方向性をアクションプラン化し、年に3回～4回の会議を開催し、目標を達成して行きたいと考えております。

最後に、大阪市の中小企業の活性化とプレーン創り、きらめき企業賞受賞の価値の創造、そして男女共同参画推進を果たすべく、きらめき企業会は活動して参ります。

大阪市きらめき企業賞 とは

大阪市では、働く一人ひとりがきらきらと輝ける職場づくりを進められるよう、積極的かつ効果的な取組みをする企業を顕彰しています。

対象となる
企業

大阪市内に事業所があり、従業員300人以下で、下記の事項に取り組んでおられる企業等

- 女性の能力活用や職域拡大に積極的に取り組む企業等
- 男女がともに仕事と家庭生活の両立支援に取り組む企業等
- その他、男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取組みを進める企業等



クリープ きらめく人

NPO法人ノーベル代表
男女共同参画審議会委員
高 亜希 さん



「子どもが急に発熱!でも、今日は外せない仕事が…」「子どもの風邪が長引いて、出勤できず困った」

仕事と子どもの看護の板ばさみで悩むパパ・ママは少なくありません。場合によっては、周囲の理解を得られず働きづらくなったり、非正規で働くを得なくなったりすることもあります。そんな仕事と子育ての両立に悩むパパ・ママの心強い味方が病児保育。しかし、高いニーズがあるにも関わらず、これまで社会的取組みが進んでいませんでした。今回は病児保育事業をNPOで立ち上げた高亜希さんにお話を伺ってきました。

子どもを産んでも当たり前に働き続けられる社会へ

平成22年2月1日に病児保育事業をスタートさせました。きっかけは、知人が両立に悩んでいたことでした。いずれ、自分も結婚・出産するなかで、同じ困難にあたる、それならば、今のうちに自分がこの問題にとりくみ、社会的に解決したいと思ったのです。

住んでいる地域や周囲の援助が得られるなどにより、一人ひとりの両立環境は違います。ノーベルでは、まず利用希望者に個別で説明を行い、どんなサービスを利用すればその人にとって最大限の効果が出るかと一緒に考えます。ノーベルに限らず地域のいろいろな情報を提供しながら、その人の両立への不安を少しでも解消するよう、寄り添います。

人と人が助け合う仕組みを作り、世の中を変える

ノーベルでは、病児保育をとおして、「女性が働き続けられる環境を作る」というミッションを掲げていますが、その元となる理念は「人と人が助け合う仕組みを作り、世の中を変える」ことです。社会全体に対して社会問題の提起をし、共感をして頂き、多くの人を巻き込んで、つながり、助け合い、みんなで社会を変えていかなければいけないと考えています。これが結果的に世の中の親御さん・子どもたち、社会のためになると思っています。一人ひとりが悩むのではなく、一人ひとり声を出し、助け合っていく。何が私たちでできてできないのか。できないのであれば行政やNPOや企業とのマッチングにより、新たな仕組みとサービスを生み出せないものを考えてています。